

中学道徳『生きる力』1年 年間指導計画例

	資料名	主題のねらい	学習活動（主な発問）
4 月	1 旗	互いに信頼し合い、励まし合うことによってより深い友情を育てていこうとする意欲を高める。 (2-(3) 友情)	(1) 中学校に入学する前、君たちが不安に思ったことは何ですか。 (2) 資料『旗』を読んで話し合う。 ①主人公にとって唯一の友だちは何だったろうか。 ②友だちがはじめて訪ねてきてくれたとき、少女はどんな気持ちだったろう。 ③一週間がすぎても友だちから何の連絡もないときの少女の気持ちを考えてみよう。 ④パッチワークの旗を見た少女は、どんな気持ちだったろう。 ⑤友だちやクラスみんなは、どんなことを考えながら旗を作り、ポールにあげたのだろう。 (3) クラスの学級旗にこの1年大切にしていこうと考えていることを書こう。
	2 ナイチンゲールと青い卵	自然のすばらしさにふれ、豊かな愛情を持って動植物や自然を愛護しようとする心情を育てる。 (3-(2) 自然愛、畏敬の念)	(1) 動植物を飼育し、栽培した経験を話し合う。 (2) 資料『ナイチンゲールと青い卵』を読んで話し合う。 ①アパートの間にある草原で野うさぎが遊ぶというドイツの話聞いて、どう思うか。 ②作者は、どんな気持ちでナイチンゲールの子育てを見守っているか。 ③作者は、自然からどんなことを学んだのだろう。 ④自分と自然とのかかわりで、深く心に残っていることはないか。 (3) 自然を愛護するには、どんな心構えが必要か。
	3 「ありがとう」をたいせつに	「あいさつ」の意義を理解し、心を込めた温かい「あいさつ」や対話をしようとする態度を養う。 (2-(1) 礼儀)	(1) 電車やバスの中で体験した善行についての事前調査を紹介し、それについて話し合う。 (2) 資料『「ありがとう」をたいせつに』を読んで話し合う。 ①この資料を読んで、心を打たれたり、心に残ったりしたところはどこか。 ②どんなことが作者の心に強い感動をあたえたのだろうか。 ③心をつなぐ対話とは、どんな対話なのか考えてみよう。 (3) あいさつの重要性について話し合う。 (4) バスや電車の中で生徒が体験した作文を読む。

5 月	4 隊長の決断	<p>集団の一員としての役割と責任を自覚し、責任を果たしながら集団の目標を達成しようとする態度を養う。</p> <p>(4-4) 役割と責任</p>	<p>(1) 集団の一員としての仕事について考える。</p> <p>(2) 資料『隊長の決断』を読んで話し合う。</p> <p>①どんなことを考えながら、高野隊長は浅見隊員に救助の指示をしたのだろうか。</p> <p>②「おれが行く。」と言った高野隊長は、どんなことを考えて決断したのだろうか。</p> <p>③高野隊長の病室で、浅見隊員はどんなことを考えながら、隊長と話していたのだろうか。</p> <p>④チームで行動するためにたいせつなことは、どんなことだろう。</p> <p>(3) 集団の一員として責任を果たすことができた経験について話し合う。</p>
	5 放し飼いにしたラック	<p>他人の権利を尊重し、自分の義務をきちんと果たして、正しく自分の権利を主張する態度を育てる。</p> <p>(4-2) 公徳心, 社会連帯)</p>	<p>(1) 資料『放し飼いにしたラック』を読んで、よく似た経験はなかったかについて話し合う。</p> <p>(2) 資料『放し飼いにしたラック』を読んで話し合う。</p> <p>①夜間、犬を放し飼いにした「ぼく」の気持ちや考え方について話し合ってみよう。</p> <p>②保健所のおりの中でのラックを見て、涙をこぼした「ぼく」の気持ちについて考えてみよう。</p> <p>③保健所の係員の話聞いて、「ぼく」はどんなことに気づいたのかをまとめてみよう。</p> <p>(3) 権利と義務との関係について話し合う。</p> <p>(4) 自分の行動が他人の権利侵害になっていたと思われることについて話し合う。</p>
	6 植物とともに	<p>理想の実現を目指して生きていくことへの意欲を高める。</p> <p>(1-4) 理想の実現)</p>	<p>(1) 身近な植物の名前をできるだけあげてみる。</p> <p>(2) 資料『植物とともに』を読んで話し合う。</p> <p>①富太郎に東京に行くことを決意させたものは何だろう。</p> <p>②初対面の大学教授に出入りを頼む富太郎をどう思うか。</p> <p>③東京での富太郎の勉強ぶりをどう思うか。</p> <p>④富太郎の生き方を支えたのは何か考えてみよう。</p> <p>(3) 自分はどのようなことを追求する人生を目指しているのかを考え、ワークシートに記入する。</p>
6 月	7 生きる幸せ	<p>生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する態度を育てる。</p> <p>(3-1) 生命の尊重)</p>	<p>(1) 健康であることがすばらしいことだと思った経験について発表する。</p> <p>(2) 資料『生きる幸せ』を読んで話し合う。</p> <p>①「生きる幸せ」についての考え方は、作者の病気前とあとではどのようにちがうだろう。</p> <p>②作者をたいへん悲ませたことはどんなことか、またそれはどうしてか。</p> <p>③なくなっていった友達から作者が学び取ったことはどんなことだろう。</p> <p>(3) 作者の考え方と自分の考え方を比べ、ほんとうに幸せな生き方について考えてみよう。</p> <p>(4) 本当に幸せに生きていると思ったのは、どんなときだったか発表してみよう。</p>

6 月	8 キャッチボール	<p>社会の一員としての自覚をもってきまりを守り、社会の秩序と規律を高めていこうとする態度を養う。</p> <p>(4-(1) 社会の秩序と規律)</p>	<p>(1) きまりやルールがないとどうなるかを話し合う。</p> <p>(2) 資料『キャッチボール』を読んで話し合う。</p> <p>①「通路をふさぐのはやめなさい！」とおばさんにしかられたときの明夫の気持ちについて考えてみよう。</p> <p>②デッドボールを受けて父の車で運ばれる途中、ワゴン車にじゃまされて動けなくなったとき、明夫はどんな気持ちになっただろう。</p> <p>③ワゴン車の運転手がどなり返すのを聞いて、明夫がはっとしたのはなぜだろう。</p> <p>(3) 社会の常識やルールを守ることが大切だと気づいた経験を話し合う。</p> <p>(4) それぞれちがった思いや状況をもつ個人が社会の中で暮らしていくためには、どのようなことがたいせつかをまとめる。</p>
	9 1500メートル走	<p>自己の向上に向け、自分のよさを伸ばしながら心から満足できる生き方をしていこうとする意欲を養う。</p> <p>(1-(5) 個性の伸長)</p>	<p>(1) 自分の得意なこと、苦手なことについて考える。</p> <p>(2) 資料『1500メートル走』を読んで話し合う。</p> <p>①「わたし」が1500メートル走の選手を引き受けた時の気持ちはどうだったろう。</p> <p>②「わたし」はどんな気持ちで練習に励んだのだろう。</p> <p>③体育祭の当日「わたし」はどんな気持ちで走ったのだろう。</p> <p>④賞状を前にして、自分の部屋の窓を開けた時の「わたし」の気持ちを考えてみよう。</p> <p>(3)自分自身のよさや個性について考える。</p>
	10 校外美化の日	<p>学校の一員としての自覚を持ち、協力してより良い校風を樹立しようとする意欲を育てる。</p> <p>(4-(7) 愛校心)</p>	<p>(1) わたしたちの学校の優れている点や、良い校風について話し合う。</p> <p>(2) 資料『校外美化の日』を読んで話し合う。</p> <p>①よその人が出したごみを、中学生がそうじすることについてどう思うか。</p> <p>②「きたないのにようやるよ！」と言った人たちの気持ちについて考えてみよう。</p> <p>③みんなのために汗を流し、さわやかな気持ちになった体験について話し合ってみよう。</p> <p>④自分たちの学校の美しい伝統を守るために、ほんとうに必要なものは何か考えてみよう。</p> <p>(3) 良い校風や伝統を作ることにについて話し合う。</p> <p>(4) 教師の説話を聞く。</p>

	<p>11 いやと言えないわたし</p>	<p>不正に対して、友達と協力して 勇気ある行動をとり、正義を 実現していこうとする意欲と態 度を養う。 (1-(2) 強い意志(希望, 勇気))</p>	<p>(1) いじめについて話し合う。 (2) 資料『いやと言えないわたし』を読んで話し合う。 ①綾子に、「真美にあやまったほうがいいよ」と言っている裕子をどう思うか。 ②あやまらないで、いじめられ続けている綾子の態度をどう思うか。 ③利江の態度をどう思うか。 ④利江の態度と自分たちの生活の様子を比べて、どう思うか。 (3) 東先生が、「おれにも卑怯な心がある」と言っていることを、どう思うか。</p>
<p>7 月</p>	<p>12 先生の忘れられないピアノ</p>	<p>戦争の悲惨さを理解し、世界の 平和と人類の幸福、発展に貢献 していこうとする心情を養う。 (4-(10) 世界平和, 人類 愛)</p>	<p>(1) 戦争や紛争のある地域に目を向ける。 (2) 資料『先生の忘れられないピアノ』を読んで話し合う。 ①どうして二人の青年は、グランドピアノを弾かせてほしいと小学校にやってきたのだろう。 ②ピアノを弾く青年や力いっぱい拍手をする松田先生の気持ちを考えてみよう。 ③『海ゆかば』を歌う子どもたちや青年の横で、松田先生は、どのような思いで立ちつくして いたのだろう。 ④平和な社会の実現のために、今のわたしたちにはどのようなことができるだろうか。 (3) 平和な暮らしが当たり前になっている私たちが、気づけなくなってしまっているものはない かを考え、交流し合う。</p>
<p>9 月</p>	<p>13 歩き続けて</p>	<p>人間の持つ弱さを克服し、自主 的に考え、誠実に責任を持って 行動できる態度を育てる。 (1-(3) 自主・自律(誠実, 責任))</p>	<p>(1) スーパーなどでの万引きについて聞いたことをもとに話し合う。 (2) 資料『歩き続けて』を読んで話し合う。 ①隆人が万引きをしたときの考えや気持ちを考えてみよう。 ②謝罪に回ったときの、最初のころの隆人の考えや気持ちについて考えてみよう。 ③見つかったスーパーだけでなく、ほかの店にも謝罪に行った理由を考えてみよう。 (3) 隆人や隆人の父から、わたしたちが学べることは何かを考える。</p>
	<p>14 「やべち」に学ぶ</p>	<p>勤労の大切さを知るとともに、 社会への奉仕の気持ちを深め、 それを実践しようとする意欲 を養う。 (4-(5) 公共の福祉(勤労, 奉仕))</p>	<p>(1) 勤労・奉仕活動などをした経験を話し合う。 (2) 資料『「やべち」に学ぶ』を読んで話し合う。 ①父から「やべちに参加してくれんかな」と言われたとき作者はどんな気持ちだったか。 ②「やべち」に参加して、作者はどんなことを思ったか。 (3) 自分たちにできる奉仕活動について話し合う。 (4) 教師の説話を聞く。</p>

	<p>15 あなたのところが</p>	<p>人間としての純粋な心や深い人間愛をもち、共に生きていこうとする態度を養う。 (3-3) 生きる喜び</p>	<p>(1) 資料『あなたのところが』を読んで、感想を話し合う。 (2) 「うつくしいところ」「うつくしい姿」について話し合う。 ①「見るもの聞くものすべてがきれいにうつる」とはどのようなものがうつっているのだろうか。 ②ところにきれいにうつったものや友達姿を思い出して詩をつくろう。 ③「うつくしいところ」「うつくしい姿」とはどのようなところや姿だろうか。 (3) 相田みつをの詩を鑑賞し、今日の学習で学んだことや考えたこと、感じたことを書く。</p>
<p>9月</p>	<p>16 一冊のノート</p>	<p>父母や祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員として充実した家庭生活を築いていこうとする意欲を高める。 (4-6) 家族愛</p>	<p>(1) 家族がいてよかったと思うことについて話し合う。 (2) 資料『一冊のノート』を読んで話し合う。 ①薬局の前で祖母に会ったとき、友達に気づかれぬように知らん顔をして通り過ぎたのは、どんな気持ちからだろう。 ②父の話を聞いたとき、何も言えなくなったのはどうしてだろう。 ③祖母と並んで草取りを始めたのは、どんな気持ちからだろう。 ④わたしたちにとって、家族とはどのようなものだろうか。 (3) 教師の説話を聞く。</p>
<p>10月</p>	<p>17 「稲むらの火」に学ぶ</p>	<p>生命のかけがえのなさに気づき、自他の生命を大切にしようとする態度を養う。 (3-1) 生命の尊重</p>	<p>(1) 気象情報で警報が出されたとき思ったことを話し合う。 (2) 資料『「稲むらの火」に学ぶ』を読んで話し合う。 ①朝、教室でクラスの友達の話聞いたときの弘子の気持ちを考えよう。 ②先生の話聞いた弘子の気持ちはどうだろうか。 ③ノートに書いているときの弘子の気持ちを考えよう。 (3) 自分にとって「稲むらの火」とは何かについて話し合う。 (4) 教師の説話を聞く。</p>
	<p>18 ありがとう。のころ</p>	<p>多くの人々やものの支えにより、日々の生活や現在の自分、これからの自分があることに気づき、それに感謝し、応えようとする態度を育てる。 (2-6) 感謝</p>	<p>(1) 感謝の気持ちを素直に伝えられなかった経験を話し合う。 (2) 資料「ありがとう。のころ」を読んで話し合う。 ①どの詩が最も印象に残ったか。また、どのあたりが気に入ったり、考えさせられたりしたか。 ②周りを見回してみよう。自分は、どのような人やものに支えられていると思うか。 ③日々の生活の中で、感謝の心をもつために大切なことは何だと思うか。 (3) 自分を支えてくれている人やものに対して、私たちはどのように応えることができるだろうか。 (4) 教師の話聞く。</p>

10月	19 インターネット社会を生きる	<p>自分も相手も、共にかけがえない人間であることを自覚し、相手に対する思いやりの気持ちをもって接しようとする態度を育てる。</p> <p>(2-2) 思いやり)</p>	<p>(1) インターネットのよさと問題点について考える。</p> <p>(2) 資料「インターネット社会を生きる」を読んで話し合う。</p> <p>①面と向かっているときや手紙とインターネットとは、何がどう違うのだろうか。心のありようについても考えてみよう。</p> <p>②インターネットを使った、より豊かなコミュニケーションとは、どのようなものだと思うか。</p> <p>(3) 「心豊かな情報化社会」をつくるために必要なこと、その社会を共に生きていく私たちにできることは何かを考える。</p> <p>(4) 教師の説話を聞く。</p>
	20 誕生日ってどんな日?	<p>生命の尊さを理解し、かけがえない自他の生命を尊重し、精一杯生きていこうとする態度を養う。</p> <p>(3-1) 生命の尊重)</p>	<p>(1) 誕生日の迎え方について自由に出し合う。</p> <p>(2) 資料『誕生日ってどんな日?』を読んで話し合う。</p> <p>①詩とイラストを見て、どのような感想をもったか。</p> <p>②どうして326さんは、誕生日は「お母さんやお父さんにアリガトウを言う日なんだ」と思ったのだろうか。</p> <p>③「あなたが生きているキセキが、スバラシすぎる」とは、どういう意味か。また、326さんは、私たちにどんなことを伝えようとしていると思うか。</p> <p>(3) 生きていることに感謝したり、生きているってすばらしいと感じたりしたことはあるか。</p>
11月	21 部活の帰り	<p>男女が互いのよさに気づき、励まし合い、高め合いながら友情を深めていこうとする態度を養う。</p> <p>(2-4) 健全な異性観)</p>	<p>(1) 異性に対する気持ちについて話し合う。</p> <p>(2) 資料『部活の帰り』を読んで話し合う。</p> <p>①彼女を見つけたときの主人公の気持ちを考えてみよう。</p> <p>②なぜ主人公は、おばあさんを助けるのをためらったのだろう。</p> <p>③主人公は、どんな気持ちで彼女を助けたのだろう。</p> <p>④「身体の中がスウツとした」のはなぜだろう。</p> <p>(3) 理想の異性像について考えてみよう。</p>
	22 二度と通らない旅人	<p>人間の持つ弱さを見つめ、その克服に努めつつ、人間愛の精神を深めようとする態度を養う。</p> <p>(2-2) 人間愛 (感謝・思いやり))</p>	<p>(1) 自分たちの「思いやり・親切」に対する意識について話し合う。</p> <p>(2) 資料『二度と通らない旅人』を読んで話し合う。</p> <p>①一家の人々が、旅人に冷たい態度をとった、そのときの気持ちを考えてみよう。</p> <p>②親子に冷たくされながらも、丸薬をあたえた旅人の気持ちを考えてみよう。</p> <p>③一家の人々が、いつまでも旅人のことが忘れられなかったのは、なぜだろう。</p> <p>(3) 旅人の行為を通して、何を学び、何に強く心を打たれたか話し合ってみよう。</p>

11月	<p>23 「ノー」と言われたときに</p>	<p>相手の立場に立って考えることの大切さを理解し、寛容の心をもって行動しようとする態度を養う。 (2-(5) 謙虚, 寛容)</p>	<p>(1) 相談ごと、頼みごとの具体例をあげる。 (2) 資料『「ノー」と言われたときに』を読んで話し合う。 ①「ノー」と言われたとき、わたしたちはどんな気持ちになるだろう。 ②「ノー」と言わざるを得なかった側の気持ちを考えてみよう。 ③「ノー」と言われたときから信頼関係の始まりだとは、どういう意味だろう。 (3) 相手の立場を考えた言動に、心があたたかくなったり、優しい気持ちになったりしたことをワークシートに書く。</p>
	<p>24 初心に返れ、基本に返れ</p>	<p>充実した生活の実現のために基本を大切に、自己を見つめ直して節度ある生活をしようとする態度を養う。 (1-(1) 望ましい生活習慣)</p>	<p>(1) 本番で普段の実力を出すことができなかった経験を出し合う。 (2) 資料『初心に返れ、基本に返れ』を読んで話し合う。 ①宇津木監督は、自分を振り返り、どうして金メダルをとることができなかったと考えたのだろうか。 ②宇津木監督にとっての初心とは、どのようなことか。基本とは、どのようなことか。 ③わたしたちにとって、初心に戻る、基本に戻るとは、どうすることなのだろうか。 ④なぜ、初心に戻ること、基本に戻ることがたいせつなのだろうか (3) イチロー選手や松井選手などのスポーツ選手が大切にしていることを考える。</p>
12月	<p>25 吾一と京造</p>	<p>自己中心的な態度を戒め、相手の向上を願って助け合い、励まし合いながら、真の友情を育てる態度を養う。 (2-(3) 友情)</p>	<p>(1) 友情について話し合う。 (2) 資料『吾一と京造』を読んで話し合う。 ①なぜ吾一は、みんなといっしょに行動しなかったのか考えてみよう。 ②京造のとった行動について、話し合ってみよう。 ③吾一が作次の言葉を聞いて、げんこつで胸もとをどかんとやられたような気がしたのは、どうしてか。 ④吾一の心が草の葉のようにゆれていたのは、なぜだろう。 (3) 吾一と京造から学ぶこと。 (4) 教師の説話を聞く。</p>

12月	<p>26 二度としない</p>	<p>望ましい生活習慣を身につけ、節度と調和のある生活を営む態度を育てる。</p> <p>(1-1) 望ましい生活習慣(健康、節度)</p>	<p>(1) 資料『二度としない』を読んで話し合う。</p> <p>① 作者が教室でふざけているときや廊下で増淵君を追いかけられているときの気持ちはどんなものか。</p> <p>② してはいけないと思いつつふざけているときの、作者の気持ちと同じようなものはなかったか、思い出してみよう。</p> <p>③ 増淵君とその母のあやまりにきているときの気持ちはどんなだろう。</p> <p>④ 増淵君をうらむ気持ちはないのだろうか。</p> <p>⑤ 作者は、この体験でどんなことに気づいたか。</p> <p>⑥ 軽はずみな言動を改めていくには、どんな注意が必要だろう。</p> <p>(2) 資料を通して学んだことを自分の生活の中で生かすにはどうすべきか、各自考える。</p>
	<p>27 橋をかける心</p>	<p>郷土の発展に尽くした先人の業績に感謝し、進んで郷土のために寄与しようとする心情を養う。</p> <p>(4-8) 郷土愛</p>	<p>(1) 資料『橋をかける心』を読んで、種山石工一族の行動を支えている気持ちについて話し合う。</p> <p>① 勘五郎がおじの三五郎から学んだものは、何だっただろうか。</p> <p>② 種山石工一族と呼ばれる人たちは、どんな気持ちでめがね橋をかけ続けたのだろうか。</p> <p>③ 種山石工一族の人たちは、いつでもそういう気持ちだけで仕事をし続けたのだろうか。</p> <p>(2) 種山石工一族とわたしたちの生活を比べて考える。</p> <p>(3) 郷土の発展のために尽くした人について調べる。</p>
1月	<p>28 トイレの水くみ</p>	<p>温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対して感謝と思いやりの心で接しようとする意欲と態度を養う。</p> <p>(2-2) 人間愛(感謝・思いやり)</p>	<p>(1) 阪神・淡路大震災について、知っていることを話し合う。</p> <p>(2) 資料『トイレの水くみ』を読んで話し合う。</p> <p>① 「ぼく」は、「温かいカップラーメンが配られ、生き返った気持ちでした。」と言っているが、このことからどんなことが想像できるだろう。</p> <p>② 「ぼく」が、池山のおばさんをトイレに連れて行ってあげようと思うようになったのは、なぜだろう。</p> <p>③ 「ぼく」は、ボランティアの活動を、どんな気持ちでながめていたのだろうか。</p> <p>④ 「ぼく」が、トイレの水くみを始めるようになったのは、どんな気持ちからだろう。</p> <p>(3) 自分たちの生活を振り返る。</p>

<p>1 月</p>	<p>29 スキーからの帰り道で</p>	<p>法やきまりが必要なことを理解し、社会の秩序を守り育てていこうとする態度を育てる。 (4-(1) 法やきまりの遵守 (権利・義務))</p>	<p>(1) 現在の学校のきまりについて、思っていることや改めてほしいことなどについて話し合う。 (2) 資料『スキーからの帰り道で』を読んで話し合う。 ①のろのろ運転のバスに乗っている「ぼく」の気持ちを考えてみよう。 ②バスを追いぬいた乗用車のドライバーの気持ちは、どんなだっただろうか。 ③衝突事故をまぬがれたとき、「ぼく」はどんな気持ちだっただろうか。 (3) バスの運転士から「ぼく」は、何を学んだと思うか。 (4) 自分の今までのきまりや法に対する考え方や行いについて反省し、ノートにまとめる。</p>
	<p>30 かけ合うひと声のたいせつさ</p>	<p>正しいと思うことを勇気を持って実行し、協力して明るく住みよい社会を実現しようとする心情を養う。 (4-(3) 正義, 公正・公平)</p>	<p>(1) わたしたちの連帯感の希薄さに気づかせる。 (2) 資料を読んで話し合う。 ①作者は、わざと聞こえるようにおじいさんに文句を言っている女子学生を、どんな気持ちで見ているだろう。 ②おじいさんにゆずった席に、サラリーマンがすわったときの作者の気持ちを考えてみよう。 ③一か月後の作者は、どこがどう変わったのだろう。 ④作者が考えている「住みよい明るい社会」というのは、どんな社会だろう。 (3) 作者とわたしたちとを比べて、気づいたことはないか。</p>
<p>2 月</p>	<p>31 投げた石の波紋</p>	<p>自分と異なるものの見方や考え方を自己の反省に生かし、自他の向上を図ろうとする寛容の心を養う。 (2-(5) 謙虚, 寛容)</p>	<p>(1) 課外活動における役割の決め方とその理由について話し合う。 (2) 資料『投げた石の波紋』を読んで話し合う。 ①勝夫と治の考え方のちがいについてまとめてみよう。 ②勝夫と治の役割分担に対する意見に見られる長所・短所を、仕事との関係で考えてみよう。 ③治の主張が勝夫たちに対して、なぜ「投げた石の波紋」となったのかについて考えてみよう。 (3) 課外活動を集団活動として進めていくうえで、考えていかなければならないことについて話し合う。 (4) 本時の学習で気づいたことを発表する。</p>

2 月	32 ゆずられた命綱	<p>人間は弱さや醜さとともに、強さや気高さを持つことに気づき、生きがいのある人生をみざす態度を養う。</p> <p>(3-3) 生きる喜び</p>	<p>(1) 資料『ゆずられた命綱』を読み、感想を話し合う。</p> <p>(2) 資料『ゆずられた命綱』を読んで話し合う。</p> <p>①こごえ死にそうな水の中で、救助を待っていた人々の心中を考えてみよう。</p> <p>②救助の命綱が投げおろされたときの、ウィリアムズさんの気持ちを考えてみよう。</p> <p>③命綱をわたり終え、力つき水中に没するときのウィリアムズさんの気持ちを考えてみよう。</p> <p>④生命をかえりみず、救助に努めた人たちの心のもち方や態度について話し合ってみよう。</p> <p>(3) 人間の持つ強さや弱さについて考えてみよう。</p>
	33 お天道様に見られている	<p>自主的に考え、自分や相手、社会に対して常に誠実で責任のある自律した行動をとろうとする態度を養う。</p> <p>(1-3) 自主・自律</p>	<p>(1) 「お天道様に見られている」と誰かに言われたり、聞いたりしたことがあるか。</p> <p>(2) 資料『お天道様に見られている』を読んで話し合う。</p> <p>①「お天道様に見られている」と感じるというのは、どのような感じのことだろう。</p> <p>②自分の「お天道様」をもち、自分をつくるというのは、どうすることだろう。</p> <p>③「律する」とは、どのようなことだろう。</p> <p>④自分を律することは、どうしたいせつなのだろう。</p> <p>(3) 今日の道徳の時間で考えたことを、ワークシートに書く。</p>
3 月	34 祖国ポーランドの歌	<p>国を愛し、優れた文化の継承と創造に尽くす態度を養う。</p> <p>(4-9) 愛国心</p>	<p>(1) 音楽家ショパンについて、知っていることを発表し合う。</p> <p>(2) 資料『祖国ポーランドの歌』を読んで話し合う。</p> <p>①夏休みを田園で過ごしたショパンは、どんなことを感じたり発見したりしたのだろうか。</p> <p>②夏休みの体験をもとに作曲したマズルカには、彼のどんな思いがこめられているのだろうか。</p> <p>③「これがぼくの民族的芸術だ。国王や貴族のためではなく、生きた民衆、ポーランド民衆のための歌だ。」というショパンの言葉の意味や気持ちについて考えてみよう。</p> <p>(3) 日本人として、日本の文化をたいせつにしていると言えるかどうか、話し合ってみよう。</p>
	35 実践目標は小さきみに	<p>より高い目標をみざし、希望と勇気を持って着実にやり抜く強い意志を持つようにする。</p> <p>(1-2) 強い意志(希望、勇気)</p>	<p>(1) 中間テストや期末テストのとき、計画表を作ったり、目標点を決めたりしているか。</p> <p>(2) 資料『実践目標は小さきみに』を読んで話し合う。</p> <p>①マラソンのスタート前の作者の気持ちを、自分の体験と重ねて話し合おう。</p> <p>②「このようなことで意地を張って……。」と思うようになったのは、どうしてだろうか。</p> <p>③作者が予想した以上の4点をとることができたのは、どうしてか。</p> <p>④作者のこのような体験から学び取れることについて考えてみよう。</p> <p>(3) 教師の説話を聞く。</p>

